

# アグリフードネットワーク in帯広



開催日時 : 平成24年11月19日(月)16:00~(受付 15:30~)

場 所 : ホテル 日航ノースランド帯広 大宴会場(帯広市西2条南 13 丁目1番地)

## 講演会(16:00~)

### 1. 農畜産物・食品の海外輸出について

- (1) 講師 日本貿易振興機構(JETRO)農林水産食品部  
農林水産食品調査課長 長谷川直行氏
- (2) 演題 今なぜ食の海外輸出を目指すのか

海外において日本産の農産物や食品への評価は高く、特に東アジアや東南アジア等の近隣諸国の富裕層を中心にメイド・イン・ジャパンへの関心が高まっています。

少子高齢化や長引くデフレを背景に国内市場が頭打ちの一方で、売り手市場として期待される海外への輸出の現状はどうなっているのでしょうか。また、輸出する側にどのようなメリット・デメリットがあり、どういった点に留意する必要がありますでしょうか。

それから、単に商品を売るだけではなく、現地での状況を把握して、日本食の普及をどのように図るかを検討することも重要です。

今回は、我が国の貿易振興のために様々な事業を実施し、輸出の担い手に対して効果的なサポートを提案し続けてきた日本貿易振興機構(JETRO)から、特に農林水産食品分野で経験が豊富な長谷川様を招いて、具体例を交えた貴重なお話をいただきます。

### 2. 中国における消費者動向について

- (1) 講師 日本政策金融公庫農林水産事業本部  
情報戦略部部長 吉原 孝
- (2) 演題 日本食品、中国消費者はどう見ているのか

国際問題や経済成長の鈍化といった不安定要素はあるものの、中国が我が国最大の貿易相手国であることに変わりありません。当公庫では、今後も大きな市場であり続けるであろう中国の消費者の日本産農産物や日本食に対する志向について、インターネット調査やインタビューを実施しその結果をとりまとめました。

中国国内での日本食品に対する信頼が、東日本大震災後の一時的低下から回復しつつあることなど、調査を通じてわかった「中国の消費者が日本食品どう見ているのか」という点についてご報告したいと考えています。

主 催 十勝で農と食を考える会・フードバレーとちかち推進協議会  
(社)北海道中小企業家同友会とちかち支部農業経営部会  
株式会社日本政策金融公庫帯広支店農林水産事業  
後 援 日本貿易振興機構北海道貿易情報センター(JETRO 北海道)

別紙

日本政策金融公庫帯広支店農林水産事業 あて (FAX 0155-27-4014)

アグリフードネットワークin帯広への出欠について  
【ご回答期限:10月26日(金)】

ご出席いただける場合は、下欄にご記入ください。

ご氏名又は法人名称	
ご出席される方のご芳名 (法人の場合、お役職名)	
ご住所	

- 注1) 個人経営の場合は、「氏名・法人名称」欄に経営主の方のご氏名を必ずご記載ください。  
注2) 法人の場合は、ご出席される方のお役職名も必ずご記載ください。  
注3) 「講演会」「懇親会」欄は、出、欠のいずれかに○印を付けてください。

返信先  
(事務局)

〒080-0013 帯広市大通南9丁目4番地帯広大通ビル  
日本政策金融公庫 帯広支店 農林水産事業  
Fax 0155-27-4014